

令和8年度 第1回白井市生涯学習推進委員会会議録

- 1 開催日時 令和8年5月26日（火） 午前10時から
- 2 開催場所 白井市役所東庁舎 1階 会議室101
- 3 出席者 鈴木委員長、三浦副委員長、志賀委員、勝田委員、佐藤委員、工藤委員、
杉野委員、吉弘委員、中嶋委員、中里委員、伊藤委員
- 4 欠席者 中野委員、金井委員、樽見委員、雨宮委員
- 5 事務局 奥村生涯学習課長、三橋係長、寺嶋主任主事
- 6 傍聴人 なし

7 議題

- ・令和7年度公民館事業報告
- ・令和8年度社会教育関係団体の認定について
- ・その他

8 議事

議題1 令和7年度公民館事業報告について、事務局及び各公民館等（指定管理者）から説明が行われた。主な説明内容は次のとおりである。

- ・西白井公民館（職員体制、貸出施設の利用料改定、利用状況、家庭教育・青少年教育・成人教育・団体育成等の講座実施、西白井複合センターまつり、レクホール開放、情報提供・施設提供、事業評価）
- ・白井駅前公民館（職員体制、団体利用状況、運営方針、令和7年度からの指定管理者の変更、各分野の事業、健康麻雀教室、輪音、白井駅前センターフェスティバル）
- ・桜台公民館（職員体制、団体利用状況・利用率の推移、料金改定の影響、事業区分の見直し、地域イズム 2025、さくセン合宿～ナイトウォーク～、団体育成スマイルさくら、令和9年度以降の閉館）
- ・学習等供用施設（富士センター）（職員体制、利用状況、運営方針、講座・事業の実施状況、情報提供（SNS 発信開始）、感染症対策、反省点）
- ・青少年女性センター（施設・利用状況、講座の企画・実施状況、参加者アンケート、千葉県男女共同参画センター連絡協議会の報告）

なお、公民センター、白井コミュニティセンター及び西白井コミュニティプラザの事業報告は、コミュニティ施設事業のため参考資料とした。

議題2 令和8年度社会教育関係団体の認定について、事務局側から説明が行われた。主な説明内容は次のとおりである。

- ・白井市社会教育関係団体の認定に関する規程第4条に基づく認定であること。
- ・今年度は8団体から申請があり、教育委員会として全団体が認定要件を満たしていると判断したこと。

- ・審査は、提出センターでの書類の基礎確認と生涯学習課での要件確認を複数職員で行い、公平性に配慮したこと。

議題3 その他について、事務局側から説明・報告が行われた。主な内容は次のとおりである。

- ・生涯学習推進委員（社会教育委員）の研修会・振興大会等のスケジュール（印旛郡市社会教育振興大会＝10月17日午後・印西市文化ホール、印旛郡市社会教育委員研修会＝11月4日・国立歴史民俗博物館ほか）。次回は3月頃開催予定。
- ・関東ブロック社会教育研究大会（千葉大会）の開催にあたり、全体会の会場設営を白井市が担当すること。
- ・千葉県社会教育委員連絡協議会の副会長に三浦委員が就任予定であること（7月の代議員会で決定、任期2年、輪番制）。
- ・会議録の簡素化（事務局説明は「資料のとおり」、委員の意見等は要約形式とすること）

9 質疑・応答

●令和7年度公民館事業報告について

委員 各館の報告から、いずれの館もサークル化に強い思いがあるように感じた。必要なことだとは思いますが、過度になっていないか。各館のサークル化に対する考え方を伺いたい。

青少年女性センター 当センターは老人福祉センター等を併設し、限られた職員で運営している。老人福祉センター関連ではサークル化を積極的に支援しているが、青少年・女性向け講座は数も限られ、人気講座を継続する程度であり、過度ということはないと考えている。

学習等供用施設 講座後のアンケートで継続開催の希望が多い。主催で何度も実施すると他の講座ができなくなるため、サークル化して交流を続ける形が理想だが、リーダーの担い手がおらず、サークル化が難しい状況である。

桜台公民館 継続的・定期的な人との関わりのため、要望のある講座と並行して、市民が立ち上げる団体を一緒につくる形で支援している。1年支援しても1団体できるかどうかであり、継続も難しく、相応の熱量が必要と考えている。

白井駅前公民館 自主事業の一部でサークル化を目指している。多世代交流や子育て世代の居場所づくりの課題解決のため自主事業を行うが、新規事業には新たなマンパワーが必要であり、サークル化により自立してもらえれば新事業に注力できる。今年度の健康麻雀教室などがその一例である。

西白井公民館 4年間継続している手芸カフェをサークル化したいと考えている。参加者は定着してきたが、運営者の担い手がおらず難しい。固執はせず、自由な活動を勧めている。

委員 一つにこだわり過ぎないという理由も理解できた。サークル化は当事者が主体にならないと運営が続かない。引っ張るのではなく、横からのサポートを重視して育てて

ほしい。

委員長 サークル化は所属意識や継続的なつながりを生み、健康寿命の延伸等の観点からも重要とされている。公民館・センターがそうした支援の資源であることは大切であり、引き続きサポートをお願いしたい。

委員 各館の人気講座や講師について、館同士で共有・紹介し合うような交流はどのように進めているか。

事務局 毎月センター長会議及び隔月の公民館担当者会議で、講師やイベント等の情報共有を随時行っている。

委員 人口が横ばいから漸減の中、各館の利用人数もほぼ横ばいだが、白井駅前センターのみ、ここ3年間で毎年1,000人から2,000人増えている。要因は何か。要因が分かればセンター長会議で横展開してはどうか。

白井駅前公民館 他館と重複しない事業を方針の一つに掲げている（重複すると参加者が分散するため）。また、複合施設として児童館の利用は例年の8割程度に減少する一方、憩いの家の利用は3割程度増加しており、今後は高齢者向け事業にも注力して全体の利用者増を図りたい。

委員 料金改定が利用者数減の一因になっている可能性がある。各館の事業評価は自己評価であり、桜台センターは厳しく見ている一方、他館は達成寄りの評価という印象で、課題の掘り下げも必要ではないか。平成31年の関係団体の見直しで団体数を絞った一方、料金改定が重なり、利用者数減につながった面もあると感じる。団体運営のリーダーの担い手不足は実感として難しい問題であり、生涯学習・生涯教育・社会教育における各自の立ち位置を意識することが大切である。

委員長 代表者が一人で責任を負う負担が担い手不足の一因と考えられる。複数人での役割分担や輪番制など負担を軽くする工夫や、うまく運営している団体の事例を共有できれば、市民も参加しやすくなるのではないか。

委員 年間を通した運営が難しい場合、1～数か月のプロジェクト型で実施する形態も考えられる。多様な実施形態を共有してはどうか。

白井駅前公民館 自主事業の増加に伴い、優先予約で部屋を確保すると、サークル等の利用希望と競合するケースが出てきている。今後の課題として共有したい。

委員 以前提案した「障害者も参加できる」ことを明示した講座について、実際の動きはあったか。

西白井公民館 自主事業名に「障害者のための」と冠した水彩画教室を実施しており、参加しやすいと好評である。他の講座も参加可だが、明示により参加のハードルが下がると考えている。

委員 西白井公民館の運営方針には「高齢者・障害者まで利用しやすい」とあるが、運営目標には障害者の文言がない。方針と目標がリンクすると分かりやすい。

西白井公民館 今後、留意したい。

委員 桜台のナイトウォークは良い事業だが、夜間で子供が多い環境のため、一部スタッフへの負担の偏りは事故につながりかねない。スタッフを増やし安全第一で実施してほしい。青少年相談員も協力できるので働きかけてほしい。

委員長 心強いコメントに感謝する。今年度もよろしくをお願いしたい。

●令和8年度社会教育関係団体の認定について

委員 8団体は、いずれも普及を含む育成活動を行っているかと捉えてよいか。仲間内のイベントだけではないという意味である。

事務局 そのとおりである。例えば、おやじってブラボー合唱団は高齢者施設でのコンサート等を行っている。

委員 社会教育関係団体かサークルかの線引きについて、メンバーだけで楽しむものがサークル、普及につなげるものが認定対象という理解でよいか。また、今回は所見のコメントもなく、整った申請である。

事務局 委員の認識で問題ない。ほとんどが継続団体で、純粋な新規は「なごみ」のみである。陶芸・体操・舞踊協会等は更新時期を逸した等の事情による申請である。

委員 認定された時期（新規か継続か、いつ認定されたか）を資料に記載してほしい。

事務局 次回以降、見やすいよう資料を整理する。

委員 今回の一覧には更新（報告書提出）中の団体が含まれていない。認定団体全体の件数・一覧も添付してほしい。

事務局 認定団体は他にも多数あるため、全体一覧を添える形で整理する。

委員 継続団体についても、継続として厳正に審査してほしい。

委員から異議はなく、認定の手続きを進めることとした。

●その他について

委員 議事録の簡素化に賛成である。検討事項・話し合った事項・決定事項が分かる形がよい。あわせて、事務局と各館（指定管理者）の関係（請負・委託・指定管理の違い）や、各施設の使用料の考え方が分かる資料があれば示してほしい。

事務局 指定管理は、募集要項に基づき提案を受けて選定する提案型であり、委託とは異なる。

る。会議室の使用料は条例で定めており、部屋の規模等により異なるが、裁量で決めるものではない。

委員 指定管理者の審査や契約関係は施設マネジメント課、使用料は会計・担当課が条例に基づき対応している。議事録の要旨化（生成A I の活用を含む）は一般的になりつつあり賛成だが、市全体での議事録の取扱いの整合は取れているか。

事務局 議事録は簡素化するよう指導されており、本件も課長の許可を得て簡素化する。担当課により従来形式が残る場合もあるが、全体としては簡素化の方向である。

委員長 要旨化により論点・課題や、クリアになった点・残った点が見やすくなる。簡素化をお願いしたい。